

下高瀬小学校で米作り ～「おいでまい」の田植学習～

▼発生年月日：2023/6/27

▼執筆者名：甲把 理恵

▼センター名：西讃農業改良普及センター

▼部門分類：水稲

▼活動分類：食農業教育・食育

▼公開：公開

▼備考：

▼本文

1) 三豊市立下高瀬小学校では、平成7年から毎年、5年生が水稲の栽培を行っており、本年も6月27日に5年生(27名)が県育成品種「おいでまい」の田植学習に取り組みました。

2) はじめに、普及センターから香川県で栽培されているお米の品種等を説明するとともに、地元の有志による下高瀬子どもすこやかボランティアから、苗の植え方や田んぼの歩き方など、田植の方法について説明がありました。

その後、生徒は泥の感触や水の温かさ、田んぼの歩きづらさを感じながら、泥だらけになりながらも楽しんで田植を行いました。

3) 今後は、雑草対策のための「アイガモの放鳥」、収穫体験として「稲刈り・ハゼ掛け」や「脱穀・精米」を行うなど、時期ごとの農作業体験や発表会を予定しており、最後は自分たちで作った「おいでまい」を給食で食べることにしています。

4) 普及センターでは、関係機関や地元小中学校等と連携し、出前授業や農作業体験などを通じて、食の大切さや地域農業への理解を深める取組みを支援します。



お米の説明



田植体験の様子



田植後のほ場